館、夏冬とまではゆかなくとも年夜利用可能な市営プール、ナイター施設のある野球場、テニスコート、音楽、絵画等が楽しめる総合文化会館、公式競技の出来る公認陸上競技場、市民いこいの場としての公園、体目にはヤングだけで楽しみ、交歓出来る勤労青少年ホームなどとあげればきりがない。

しかし当市は県下一の人口急増都市であり、生活基盤整備への公共施設投資に容易でないが、一方当市には観光地、海水浴場、スキー場、キャンプ場、ハイキングコースなど自然的な保健施設に恵まれていない。このような都市こそ人為的な社会教育施設の建設が必要と思う。やがて五万四千都市に発展する当市である。選かれ早かれ最低これら社会教育施設の充実を望みたい。

七、新生「豊栄市」建設へ

いまや地方都市の時代と言われる。国の施策にも地方都市の振興を構想している。一方大都市生活者も年々住宅問題、公害問題が厳しくなり、将来は地方都市への志向が強いと聞く。また上越新幹線の開業、関越、北陸、羽越高速自動車道の完通の暁には新潟市の使命は大きい。それに隣接する当市の役割も大きい。今こそ当市は二十一世紀の新時代へと大きく飛躍する時だと思う。

しかし、その前に市民として解決し、克服しなければならない課題が多々ある。ここにその二、三を指摘したい。

その一つは、旧葛塚町、木崎、岡方、長浦村とその歴史と伝統の違いはあっても、いまやここに狭い視野的思考や古い住民感情から脱皮し、新市建設の本旨に立ち返るとともに各種団体、諸機関もできるだけ統合してその効率的な運営を図ることが望ましい。

次に、農家、商店、勤め人とその職業の違いや、農家集落、商店街地域、新興住宅地とその生活様式の相違はあろうが、同じ市民としての相互理解と連帯感を持って明るい住みよい町づくりに心がけることである。

更に、県内二十市を県の人口統計（七月一日現在）でみると表8のとおりである。

このように当市は上位から十一番目である。しかし、産業、教育、文化、更には市民生活において果してそれにふさわしいものであろうか。それを思う時市民一人ひとりが広い視野と高い識見を持ち、総ての分野で県水準に追いつき、追い抜く勇気と協力が望まれる。そして、私は新しい市としての町づくりに次の二つを提言したい。

一つ、「スポーツと音楽と読書」の町に。

最近、市町村でその「町づくり」目標を制定したり、象徴として花や木を定めているところがある。当市も「スポーツと音楽と読書」の町としてはどうだろう。

これからは余暇活用の時代である。スポーツに、音楽に、読書に各々その楽しみと生きがいを創造しなければならない。これこそは子供も、青年も、婦人も、壮年も、老人も

表 8

新潟市	448,581人	
長岡市	178,000	
上越市	126,729	
三条市	85,463	
柏崎市	82,403	
新発田市	76,738	
新津市	62,996	
小千谷市	45,069	
加茂市	37,338	
十日町市	49,969	
見附市	42,233	
村上市	33,552	
燕市	44,664	
栃尾市	31,436	
糸魚川市	36,380	
新井市	29,003	
五泉市	40,353	
両津市	22,051	
白根市	33,603	
豊栄市	42,281	

皆んなかかわりの持てるものであり、全市民、市内各所で各々の能力、趣味に応じ、あるいはスポーツに熱気呼び、音楽でなごみ、また読書で語り合い、これを通じて明るく、活気ある町づくりとしてはどうだろう。

二つに、新「豊栄まつり」の開祀である。

近ごろ、故郷まつり、郷土芸能の重要性が叫ばれる。現在当市では各町内氏子毎に土産祭をしている。これはそれで意義あることであるが、更に全町内の参加による一大例祭を持ってはどうだろう。新潟まつり、長岡まつり、新発田まつりの如く、新しい「豊栄まつり」を創祀し、全市民がこぞって共に喜び、祝い合い、楽しみ、騒ぎ、情熱を湧かせて、県内はおろか全国にその勇名を轟かせてはどうだろう。

「二」については行政サイドの問題であり、われわれ一市民がとやかく言う限りでないかもしれないが、「二」については市民の中から民主的な盛りあがりを期待したい。特に青年団、婦人会、文化団体、市商工会等からの発想はどうでしょう。

八、まとめ

新町建設二十五周年、市制施行十周年、記念すべき年の行事の一つに参加したいと思い「豊栄市の将来」その産業、教育文化、交通問題、町づくりなどについて考えてみた。

市の行財政について全く知識も経験もない者であり、そこには現実性のない空論じみたものが多いと思う。しかし、われわれ市民はいま、「豊栄市をよくするのは、豊栄市民である」ことに思いをよせ、市の将来について真剣に考える時期だと思う。

当市はいわゆる新興都市、人口急増都市であり、人口の増加に呼応して産業経済、教育文化などの発展が伴い得ない大きな問題と苦悩がある。これは独り当市だけの問題でなく、このような都市ではどこにも起り得る問題であろう。これをすべて市行政当局の問題、責任とばかり考えることをやめ、市民一人ひとりお互いに融和と協力をし、連帯と英知のもと、そして「夢と希望」を持って進むべきだと考える。

最後に、幸い当市には「広い沃地と豊富な水があり、そして多くの人々が住んでいる。きっとその名の如く「豊かに栄える市」に発展することを確信する。

☆記念論文は、小中学生の部、一般の部の最優秀作品を全文掲載しました。

記念誌を全戸に配布

市制施行十周年、新町建設二十五周年を記念して、作成していた記念誌「とよさか80」が、でき上り、さきほど、市内全戸に配布しました。

新町が建設された昭和三十年からの市の歩みや昔の潟や川、そしてまちなどの写真、それに現在の姿を表現したカラー写真などで構成した市勢要覧です。

みなさんの家庭のできごとなどを本誌を開きながら、回顧してみてはいかがでしょうか。

訂正

前号の人権擁護委員の記事の中で、栗橋知子さんが、栗林知子さんになっていました。お詫びし、訂正いたします。

上半期の財政事情
市税の収納率五一パーセント

今年度上半期（四月から九月まで）の市の財政事情がまとまりました。

一般会計は、当初予算が六十六億円でしたが、これまで三回の補正で五億二千九百四十七万三千円を追加し、総額は七十一億二千九百四十七万三千円になりました。

これまでに追加された主なものは、次のとおりです。

△歳入

市税一億六千四百十万円、繰入金一億円、市税六千三百一万八千円、地方交付税五千九百七十三万五千円、県支出金五千八百八十三万六千円

△歳出

教育費二億五千四百三十七万四千円、土木費九千八百二十万三千円、農林水産業費六千五十五万四千円、民生費四千三百三十八万四千円

なお、歳入のうち、国庫支出金が四百四十二万二千円、交通安全対策特別交付金が百十四万一千円、それぞれ減額補正されました。

歳入

九月末日までの収入済額は二十七億八千六百五十三万五千円で、予算額の三九・一％に当たります。

収入済額の多い主なものは次のとおりです。（一万円未満は切り捨て）

地方交付税十二億六十五万円、市税八億二千七百三十三万円、国庫支出金三億三千九百八十万円　繰越金四千八百九万円、分担金及び負担金一億一千百六十八万円、県支出金九千五百十六万円　寄附金四千八百六十六万円　使用料及び手数料三千三十四万円

歳出

支出済額は二十七億一千百九十三万九千円で、予算額の三八％に当たります。

支出済額の多いものは次のとおりです。（一万円未満切り捨て）

民生費七億二千二十五万円、教育費五億四千六万円、総務費三億二千九百九十七万円、土木費二億九千四百四十八万円、衛生費二億九千七百五十八万円、公債費一億六千六百七十八万円、商工費一億四千四十七万円、消防費一億二千三十八万円

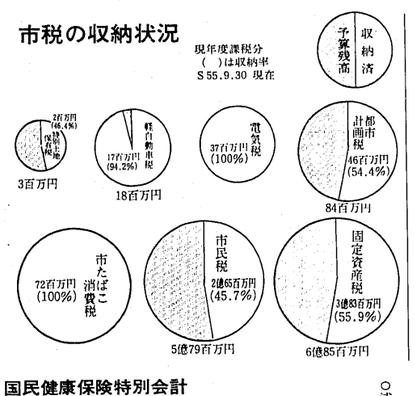
建設事業の契約状況

市の建設事業のうち契約金額が四百万円以上で、九月末日までに契約済みのものは、次のとおりです。（一万円未満は切り捨て）

○豊栄住宅団地配水管布設工事及び配水処理場外構工事　一億四、三一〇万円
○内島見内線八号舗装工事　四一〇万円
○繁津内線一号外二線舗装工事　五〇四万円
○平林堀田長場線舗装工事　五三〇万円
○十二内線五号外一線舗装工事　四六〇万円
○栄町内線一〇号外二線舗装工事　五七〇万円
○豊栄東港線舗装新設工事　九四五万円
○浦木長戸線舗装工事　八〇〇万円
○灰塚内線八号舗装工事　四二〇万円
○東葛塚支線六号舗装工事　四四〇万円
○新発田一号線道路新設工事　四九〇万円
○木伏裏道線舗装工事　四六五万円
○村新田線舗装工事　五九三万円
○尾山早通松潟線改良工事　五一〇万円
○饅馬場向山線舗装工事　七一〇万円
○下黒山内線一号外二線舗装　六一〇万円
○高山笹山線舗装工事　八五〇万円
○大久保内線八号外一線舗装工事　五八〇万円
○長戸呂内線一四号舗装工事　五〇〇万円
○佳良団地支線竹の通線舗装工事　四四五万円
○繁津大月線一号外一線道路改良工事　一、〇七〇万円
○豊栄水原線拡幅用地買収　五三二万円
○葛塚柳原線用地買収　六五二万円
○葛塚環状線用地買収　一、〇五七万円
○横井小学校土留工事　四八〇万円
○笹山小学校校舎建築工事及び設計監理委託　二億四、二七〇万円
○早通南小学校体育館建築工事及び設計監理委託　二億八、七九五万円
○長浦中学校体育館土台取替その他工事　七七〇万円
○葛塚小学校用地造成工事　四、五五〇万円
○市営運動場用地買収　一億二、四七〇万円
○防火水槽設置工事　一、四三〇万円
○消防積載車車庫建築工事　四九三万円
○早通下水路付帯工事　六四〇万円

市税の収納状況

現年度課税分（　）は収納率　S55.9.30 現在



国民健康保険特別会計

予算額	1,384,422千円
収入済額	565,787千円
支出済額	428,147千円

水道事業会計

	収益的収支			資本的収支		
	予算額	執行済額	執行率	予算額	執行済額	執行率
収入	779,774千円	296,231千円	38.0%	868,178千円	17,060千円	2.0%
支出	766,969千円	262,116千円	34.2%	984,826千円	182,542千円	18.5%